

互いに信頼し支え 合える社会の実現を



日本共産党 戸田市議会議員
むとう 葉子

が挙げられます。これまで、日本共産党市議団が求めてきたことだけでなく、議会で取り上げた子どもの居場所対策や不登校児童生徒に対する教育センターの拡大などなど。私が大きく評価したのは、戸田市は平和都市宣言をしている自治体であることから、「平和首長国内加盟都市会議」に市長が出席するよう求めた結果、市長が参加する予算が付きました。今、戦争前夜といわれるような世の中で、これまでの悲惨な戦争を振り返り「戦争しないための対話による努力」が必要で、平和のバトンを次世代に手渡して欲しいと訴えました。

**大切な家族や友人を守るために
どうしたらいいか 一緒に考え
ましょう**

岸田政権が、「武器には武器を」と語気を強めて、大軍拡・大増税を目論んでいます。戦争だけは絶対にダメなんだと言っているのは日本共産党だけです。武器が抑止力になるという考えは、相手を脅す行為にすぎません。脅し合いでは、豊かな人間関係は築けません。互いに信頼し合える社会を次の世代に引き継いでいきましょう。

桜吹雪の中 令和5年度・新年
度がスタート お元気でお過
ごしでしょうか

今年は桜の開花が早く、桜吹雪の中、後援会行事の「お花見」が4年ぶりに開催されました。数年間は人と会うことがためらわれ、知らず知らずのうちに心の距離が出来ていました。久しぶりのお花見は、風も日差しもやわらかく、とても優しい気持ちになりました。桜の散る様は、いつの時代も素敵な空気に包まれてきたのだらうと感じました。

**誰ひとり取り残さない・SDGsの視
点から予算案に賛成**

3月議会では、令和5年度の予算に日本共産党戸田市議団を代表して賛成討論をしました。(詳しくはホームページをご覧ください)「誰ひとり取り残さない SDGsの理念」が予算に活かされているかどうか?という視点とは、いろいろな場面でマイノリティ(少数者)に対しても対応できる政策が行われるかが鍵となります。多様性がある社会は、誰にとっても暮らしやすい社会です。

予算案では、例えば、生活困窮者に対する家計相談や就労支援が追加されました。これにより、引きこもり等で、自分自身では解決できない悩みを、相談員と一緒に課題を探り、解決に向けた支援をしていくことが、今以上にできるようになります。また保育士宿舍借り上げ事業は、戸田市で働いてきた保育士からの強い要求で、働き続けることが可能になります。戸田市独自の野良猫避妊治療の補助金制度、環境問題や水災害対策の費用など

日本共産党 No.69 2023年4月 東部地域後援会ニュース



いつもニュースをお読みいただきありがとうございます。ご意見、ご要望をお寄せください。

読者様



発行 日本共産党東部地域後援会
戸田市下前1丁目10-35 戸田市委員会事務所内
TEL/FAX : 442-3599 部内資料
むとう葉子市議ホームページ
HP : <http://www.mutou-youko.com/>
E-mail : i19414034@gmail.com

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しん 赤旗

日刊紙
3,497円
日曜版
930円

ご支援よろしく申し上げます

川口市議選挙

4/16(日)告示・4/23(日)投票



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ



矢野ゆき子 井上かおる ふじしまともこ

蕨市議選挙

5/28(日)告示・6/4(日)投票



鈴木さとし やまわき紀子 みやした奈美 武下 涼

むとう葉子

3月議会報告会

4/16(日)

2:00~4:00

(開場 1:30)

東部福祉センター

埼京線での人身事故防止へ

ホームドア設置要望署名2317筆



JRに提出・懇談

前号でお知らせした、「埼京線市内3駅に転落防止対策を求める要望書」の署名について、2023年3月1日、日本共産党戸田市議団は、日本共産党の伊藤岳参議院議員と戸田市民2名と共に、JR大宮支社を訪れ、JR東日本代表取締役深沢祐二氏へのホームドアの設置を求める要望署名2317筆を担当者に手渡し懇談しました(写真右、左から3番目むとう議員)

優先的に設置していきたい

埼京線のホームドア設置については、すでに2031年までに設置することを公表しています。戸田市内の3駅については、乗降客が増えていることから優先的に設置していきたい。ホームドア設置については同じ思いであるが、課題は半導体の不足とのことでした。参加した市民からは、「昨年未の親子の痛ましい事



故が二度と起きないように、対策を」全国を見ても、戸田市内3駅の事故が突出して多い。ホームドアの設置で、「(自殺を)思いとどまって欲しいと期待している」などの訴えがありました。

設置されるまでの期間

また党市議団3人も、「ホームドアが設置されるまでの期間、人的配置をして欲しい」「人身事故が起きた場合、振替輸送に臨時バスを増発して欲しい」等を要望。また「ホームにゆるキャラの設置をしてはどうか」と提案しました。

人的配置については、現在もホームを巡回してもらっており、蕨警察も警備にあたっているそうです。人身事故が起きた際のバス臨時便については、JRからバス会社へ要望を出しているとのこと。

蕨市「日本一のあったか市政」よりたか英雄



実績の紹介

くらしに安心 未来に希望
お隣の「蕨市」よりたか市政4期
16年の実績をご紹介します。
(フレッシユみんなの会(リーフレットより))

- 1 子育ての抜本的な拡充
 - ・ 県南でいち早く中学卒業までの医療費の無料化を実施。(昨年10月から入院は高校卒業まで拡大)
 - ・ 認可保育園は5園から15園に大幅増設(学童保育園は7室から20室へ)
 - ・ 「蕨は子育てしやすい」(市民意識調査80%)
- 2 教育の充実で、素晴らしい成果
 - ・ 国に先駆けて35人学級を実施 ↓ 中学生の学力が県内トップ10は県南で蕨だけ
 - ・ 教室に続き、体育館にエアコン整備
- 3 介護・健康づくり推進
 - ・ 市独自の誘致政策 ↓ 特別養護老人ホーム2か所増設
 - ・ 地域包括支援センターを1か所から3か所体制へ
- 4 財政健全化で市財政を120億円改善
 - ・ 市の借金を73億円削減、基金は47億円増加
 - ・ 市税収納率11年連続上昇 ↓ 年5.7億円の税収増
 - ・ 国の補助金は大幅増 前市政と比較して7.7倍に
 - ・ コロナ交付金は近隣市で最も多い
- 5 防犯対策を強化、犯罪件数が大幅減少
 - ・ 防犯カメラ140台設置、防犯灯のLED化
- 6 商店会支援・市民との対話
 - ・ 街灯の電気料補助、空き店舗の活用に補助
 - ・ 市長タウンミーティング毎年開催

ごあいさつ

4月2日、心配されたのは、お天気と、「花がもつだろうか」でしたが、桜吹雪と一面の桜のじゅうたんの中、むとう葉子議員を始めたたくさんの皆様のご参加をいただき、花見の会を実施することができました。コロナ禍の中、行事も制限され4年ぶりの企画でしたが、ご馳走を前に語り合い、歌あり、踊り(炭坑節の輪が広がりました)あり。ひと時の鋭気を養いました。

岸田政権はソフト路線で安倍さんよりまだまし(?)と思われるかもしれませんが、とんでもない。今までの専守防衛から相手の国の奥深くまでミサイルを撃ち込むことができるという先制攻撃に舵を切り、今後5年間で防衛費を2倍にするという暴挙。まさに戦争前夜の様相です。今年は憲法を前面に掲げた平和への取り組みの正念場の年となります。これからも元気の出る企画に取り組みます。ご参加をこころからお待ちしています。

東部地域後援会長 柳田多恵子



戸田革新懇



学習会に参加しました

3月19日 戸田革新懇談会主催の「安保3文書」学習会(於・さくらパル)に参加しました。

講師は二橋元長さん(県平和委員会代表理事)。憲法に自衛隊が書き込まれるとどうなるかはこれまで何度も見聞きしていますが、資料によるとどんな統治機構になるのか、航空機による対地攻撃に必要な装備が図表で表され、着々と戦争する国作りが企てられていることがわかりました。

まるで外堀を固めるようにじわじわと、土地利用規制法などをはじめとて様々な法案を作り、一つ一つを串刺しにすると、一気に軍事へと進むという話でした。だから今度の統一地方選挙はことさら重要とのこと。私達が声を上げていることは抑止力になっていると。焦らず、慌てず、諦めずにやっていくしかないという言葉で結ばれました。

(下戸田・M.Kさん)

防衛費増額



防衛費倍増「5兆円」あったら
何が出来るか?
(政府の資料などにに基づく)

子育て・教育	大学授業料の無償化*	1.8兆円
	児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃*	1兆円
年金	小・中学校の給食無償化	4386億円
	受給権者(4051万人)全員に1人年12万円を追加で支給	4兆8612億円
医療	公的保険医療の自己負担(1~3割)をゼロに	5兆1837億円
消費税	現在10%の税率から、2%を引き下げ	4兆3146億円

これが

新しい戦前だ

ロシアによるウクライナ侵略がいまだに続き、心を痛めている人も多い。

それに乗じて政府は、中国や北朝鮮の脅威に対抗するというこ

とで、大軍拡・増税を行おうとしている。

街中では、「決断と実行」とか、「日本を前へ」という政党ポスターを見かける。いや、ちょっと待てよ。「独断と実行」・「日本を戦前へ」ではないのか?

岸田首相は「異次元の少子化対策」と言い出した。ちょっと待てよ。「産めよ殖やせよ国のため」ではないのか?

なんでも値上がりの異常な物価高と増税。これは「欲しがりません、死ぬまでは」か?

元法政大学学長の田中優子さんは「反戦の準備をしよう」と呼び掛けている。
演出家の宮本亜門さんは「戦争は天災ではなく、人災だ。人災は止めることができる」と発言している。
人災を呼ぶ首相には即刻退場してもらえない。
(只野凡人)